

ハイブリッド式加湿器 [温風気化/気化式]

取扱説明書

エイチ ディー エヌ イー
HD-N323E3

＜保証書付＞裏表紙に付いています



もくじ

安全のために必ずお守りください……………	1	ご使用前
特長……………	4	
各部のなまえ……………	5	
使用する場所・使用前の準備……………	7	
運転を開始するとき……………	9	使用方法
運転を停止するとき……………	11	
チャイルドロックを使用するとき……………	11	
運転切換をするとき……………	12	
湿度設定をするとき……………	13	
切タイマー運転を使用するとき……………	14	
お手入れサインが点滅したとき……………	15	点検・その他
お手入れのしかた……………	15	
定期点検のおすすめ……………	18	
保管と廃棄のしかた……………	18	
故障かな?と思ったら……………	19	
消耗部品の交換について……………	20	
部品のご注文について……………	21	
仕様……………	21	
保証とアフターサービス……………	22	
保証書……………	裏表紙	

この製品は日本国内専用ですので、日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

■製品アンケートへのご協力をお願いします
ご回答の際、ご購入機種の製造番号やお客様のお名前などの入力が必要です。
<https://www.dainichi-net.co.jp/p-enquete/>

ダイニチ工業 製品アンケート

■部品のご注文について [21ページ](#)
別売部品はお買い上げの販売店もしくは、「ダイニチWebShop」でもご注文ができます。
<https://webshop.dainichi-net.co.jp/>

ダイニチWebShop



※通信料などはお客様のご負担となります。

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも取り出せる場所に、大切に保管してください。
裏表紙の保証書は、「お買い上げ日、製造番号、販売店名」などの記入をお確かめください。



安全のために必ずお守りください

お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。






誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本文中のマークは、次の意味を表します。

	このマークは、してはいけない「禁止」を表しています。
	このマークは、必ず実行していただく「指示」を表しています。

ご使用前

 警告(WARNING)	
<p>分解修理・改造の禁止 故障・破損したら、使用しないでください。また、お客様自身による分解・修理・改造はしないでください。感電や故障の原因になります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。 22ページ</p>  <p style="text-align: right;">分解禁止</p>	<p>水に浸けたり、水などをかけたりしない 本体を水に浸けたり、水やコーヒー、ジュースなどの液体をかけないでください。水などの液体が本体内部に流れ込むと、故障・漏電・火災の原因になります。水に浸けたり、水などの液体をかけたときはご使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。 22ページ</p>  <p style="text-align: right;">水ぬれ禁止</p>
<p>交流100V以外での使用やタコ足配線をしない タコ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因になります。</p>  <p style="text-align: right;">禁止</p>	<p>異常・故障時は運転を停止して電源プラグを抜く 水漏れ、焦げくさい臭いなど異常や故障と思われるときはご使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。火災・感電・けがの原因になります。 22ページ</p>  <p style="text-align: right;">プラグを抜く</p>
<p>本体内に異物を入れない 吹出口や吸気グリルにピンや針金などの異物を入れないでください。感電やけがの原因になります。</p>  <p style="text-align: right;">禁止</p>	<p>お手入れするときは、電源プラグを抜く 感電の原因になります。</p>  <p style="text-align: right;">プラグを抜く</p>
<p>幼児の手の届くところでは使わない 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わないでください。やけど・けが・感電の原因になります。</p>  <p style="text-align: right;">禁止</p>	<p>お手入れに塩素系・酸性タイプの洗剤は使わない 有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。</p>  <p style="text-align: right;">禁止</p>

⚠ 警告 (WARNING)

電源プラグのお手入れをする

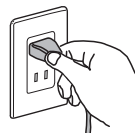
ときどきは電源プラグを抜き、ほこりなどを除去してください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



必ず行う

電源プラグは確実に差し込む

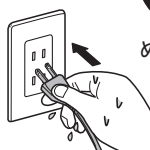
電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込み、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。火災や感電の原因になります。



必ず行う

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

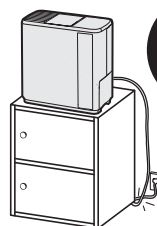
感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、重い物をのせないでください。また、束ねたまま使用しないでください。火災や感電の原因になります。



禁止

⚠ 注意 (CAUTION)

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

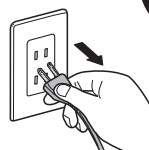
けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く

電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。火災や感電の原因になります。



必ず行う

水道水(飲用)以外は使用しない

- 40℃以上のお湯や汚れた水、ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水などを使用しないでください。雑菌やカビが繁殖しやすくなったり、変形・割れ(水漏れ)・故障の原因になります。
- 化学薬品(塩素系除菌消臭剤など)、芳香剤(アロマオイルなど)を使用しないでください。変形・割れ(水漏れ)・故障・火災の原因になります。



禁止

タンクの水や本体内部は常に清潔にする

タンクの水は毎日新しい水道水と入れ替え、本体内部は常に清潔に保つよう定期的にお手入れしてください。お手入れせずに使用を続けると、雑菌やカビが繁殖し悪臭の原因になります。体質によっては、過敏に反応し健康を損なう原因になります。



必ず行う

不安定な場所に置いたり、傾けて使用しない

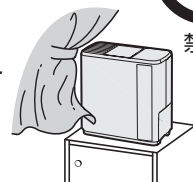
水がこぼれ、火災や感電の原因になります。



禁止

加湿された風が家具、壁、カーテンなどに直接あたるところには置かない

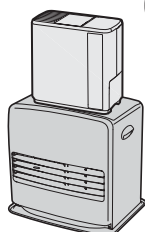
しみが付いたり、変形するおそれがあります。



禁止

暖房機など電化製品の上に置かない

転倒すると水がこぼれ、火災や感電の原因になります。



禁止

吸気グリル・除菌フィルターを外したまま使用しない

性能が発揮されず、故障の原因になります。



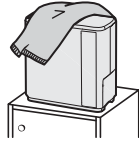
禁止

安全のために必ずお守りください

お願い(NOTICE)

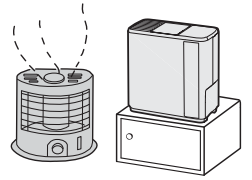
吹出口や吸気グリルをふさがない

吹出口や吸気グリルをふさぐと変形や故障の原因になります。



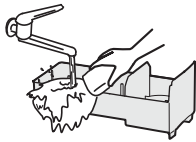
直射日光のあたるところや暖房機の上や近くに置かない

タンク内の空気が膨張し、水があふれたり、プラスチック部分に変形や変質するおそれがあります。



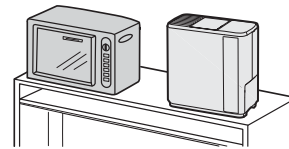
こまめにお手入れする

お手入れせずに使用を続けると、本体内部に水アカなどが付着してとれにくくなり、誤動作や故障の原因になります。



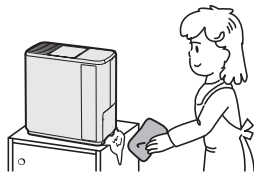
磁気の多いところには置かない

電磁調理器やスピーカーの近くなど磁気の多いところには置かないでください。正常に作動しないときがあります。



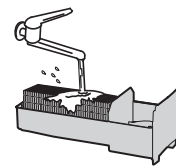
本体下部や棚などをときどき清掃する

水がこぼれたまま放置すると、棚などを傷めるおそれがあります。



本体内部には直接水を入れない

トレイに直接水を入れないでください。故障の原因になります。



長期間使用しないときは、タンク・トレイの水を捨てる

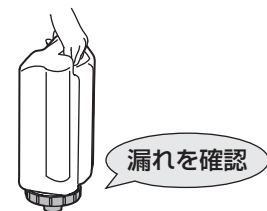
水を入れたまま放置すると、雑菌やカビが繁殖し悪臭の原因になります。

タンクを入れたまま移動しない

移動するときは、必ずタンクを取り出し、トレイの水を捨ててから、取っ手を持ち、傾けないように静かに運んでください。水がこぼれて周囲をぬらすおそれがあります。

水漏れ確認

タンクキャップは確実に閉めてください。タンクキャップを下にして水漏れがないことを確かめてください。また、タンクを落としたときは、タンクの破損による水漏れがないことを確かめてください。水漏れがあるときは、ご使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。22ページ



凍結のおそれがあるときは、タンク・トレイの水を捨てる

凍結したまま使用すると、故障の原因になります。

抗菌気化フィルターを外したまま使用しない

故障の原因になります。

タンク・トレイの水を飲まない、飲ませない

体調不良の原因になります。

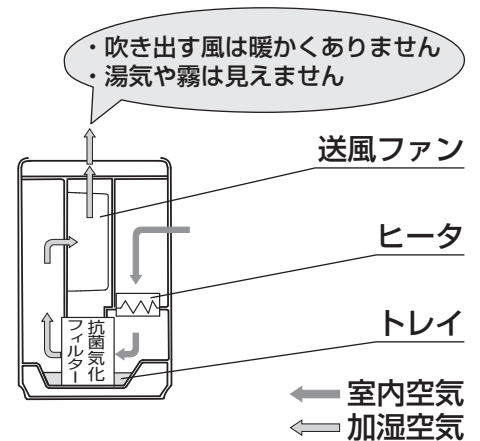
湿度の高いところ(85%以上)では使用しない

故障の原因になります。

特 長

1 ハイブリッド式(温風気化/気化式)

- ハイブリッド式は、水を含んだ抗菌気化フィルターに風をあてて加湿する「気化式」と、温風をあてて加湿する「温風気化式」を組み合わせた方式です。
湿度が低いときは、「温風気化式」ですばやく加湿し、設定湿度に近づくと温風を使わない「気化式」に切り換え加湿量を調整します。
- 「温風気化式」でも、ヒータで暖められた風は、抗菌気化フィルターで水が気化するとき熱が奪われるので、吹出口より吹き出す風は暖かくありません。また、スチームファン式や超音波式のような湯気や霧は見えません。



2 静音設計

運転音を抑えていますので、就寝時にも快適にご使用いただけます。

3 選べる運転モード 12ページ

お好みに合わせて運転モードが選べます。

4 おやすみ減光モード 10ページ

表示部の明るさを3段階に減光して切りかえることができます。

5 除菌・抗菌機能搭載

- ①Ag+抗菌アタッチメント：水中に溶出した抗菌※1成分が、タンク内の雑菌の繁殖を抑えます。
- ②抗菌トレイ：抗菌※2加工を施し、トレイ内の雑菌の繁殖を抑えます。
- ③抗菌気化フィルター：抗菌※3・防カビ※4加工を施し、トレイ内の雑菌・カビの繁殖を抑えます。
- ④除菌フィルター：除菌※5加工を施し、部屋の空気から捕らえた雑菌の繁殖を抑えます。

	※1	※2	※3	※4	※5
試験機関	一般財団法人 日本食品分析センター	一般財団法人 ポーケン品質評価機構			東亜合成株式会社 製品研究所
試験方法	一般社団法人 日本電機工業会 自主基準(HD-133)に準拠 (試験対象：水中の2種類の菌)	JIS Z2801に準拠	JIS L1902に準拠	JIS Z2911に準拠	JIS L1902に準拠
抗菌・防カビ・除菌の方法	タンクの水に抗菌剤を浸漬	トレイに抗菌加工	フィルターに抗菌剤 を含浸	フィルターに防カビ 剤を含浸	フィルターに除菌剤 を含浸
抗菌・防カビ・除菌を行なっている対象部分の名称	Ag+抗菌アタッチメント	抗菌トレイ	抗菌気化フィルター		除菌フィルター
試験結果 (試験番号)	6時間で99%以上の抑制を確認 (第18054444001-0101号) (第18081600001-0101号)	99%以上の抑制を確認 (10024862-1) (10024862-2)	99%以上の抑制を確認 (20216048889-1)	抑制を確認 (20216048889-2)	99%以上の抑制を確認 (No.1904NI01-2)

各部のなまえ

外観図

前面

点 タンク

7ページ 8ページ 15ページ 16ページ 17ページ

タンクカバー

8ページ 16ページ 17ページ

吹出口

7ページ

操作・表示部

6ページ

Ag+抗菌アタッチメント
(消耗部品)

15ページ 20ページ

タンクキャップ

8ページ 20ページ

水量確認窓

点 抗菌酸化フィルター

(消耗部品) 16ページ 17ページ 20ページ

※片側が開きますので、取り扱いに注意してください。

点 ヒータ

1ページ

フロート

17ページ

※発泡スチロールは外さないでください。

点 抗菌トレイ

16ページ 17ページ

(以下、「トレイ」)

背面

取っ手

7ページ

本体に添付されているシールに使用開始日をご記入のうえ背面右上に貼って交換の目安にしてください。

Ag+抗菌アタッチメント
商品コード：H011500(1個入)
商品コード：H011501(2個入)
(使用開始日 年 月 日)
Ag+抗菌アタッチメント交換の目安
1シーズン(6カ月使用の場合)

点 除菌フィルター

(消耗部品) 16ページ 20ページ

点 吸気グリル

16ページ

温湿度センサー

7ページ 9ページ

点 電源プラグ

8ページ

点 電源コード

8ページ

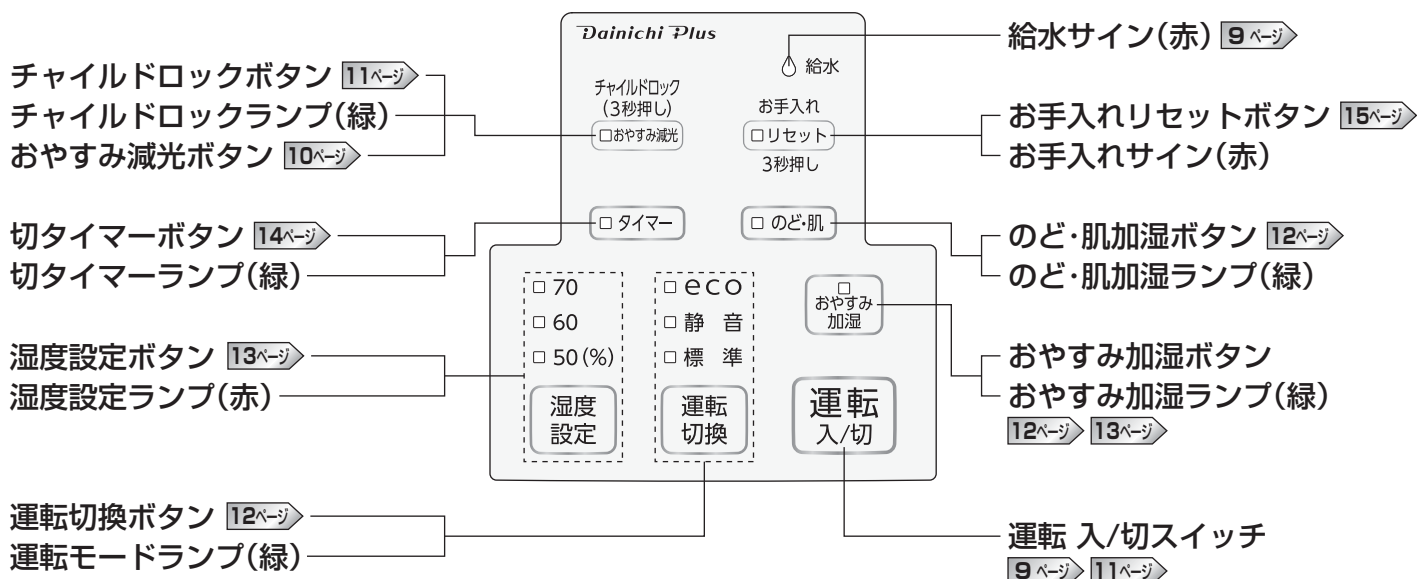
点 運転中高温になる部分(ご注意ください)

点 点検・手入れが必要な部分

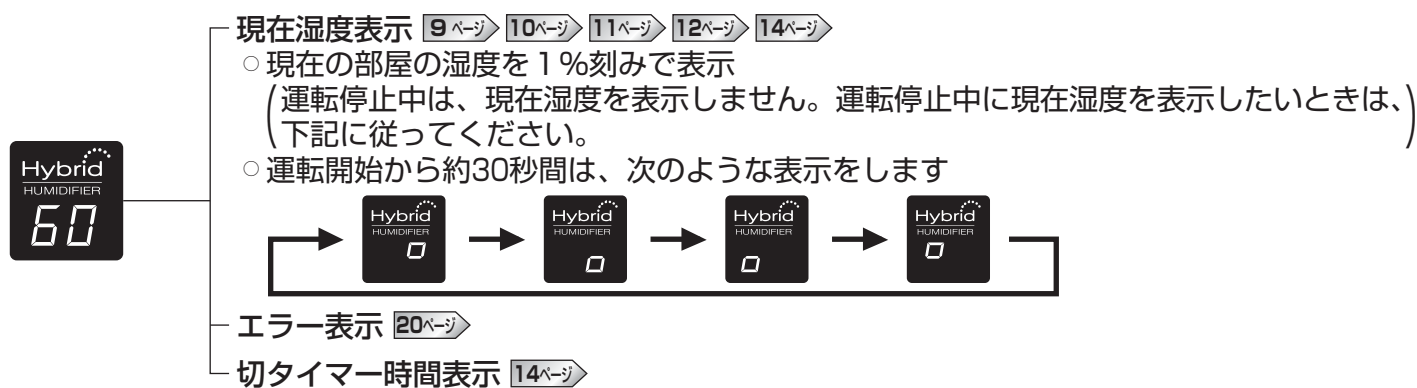
ご使用前

操作・表示部

上部部



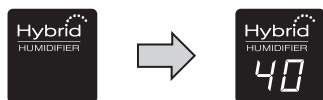
前面部



現在湿度表示の切り換えかた

運転停止中に現在湿度を表示したいとき

湿度設定ボタンを「ピッピッ」と鳴るまで約3秒間押す



- 一定の間隔で送風ファンが回ります。
- 現在湿度表示を消したいときは、再度、湿度設定ボタンを「ピッ」と鳴るまで約3秒間押してください。

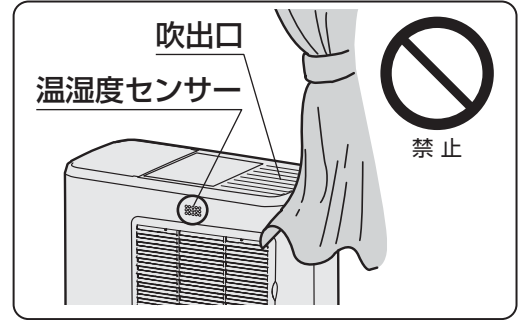
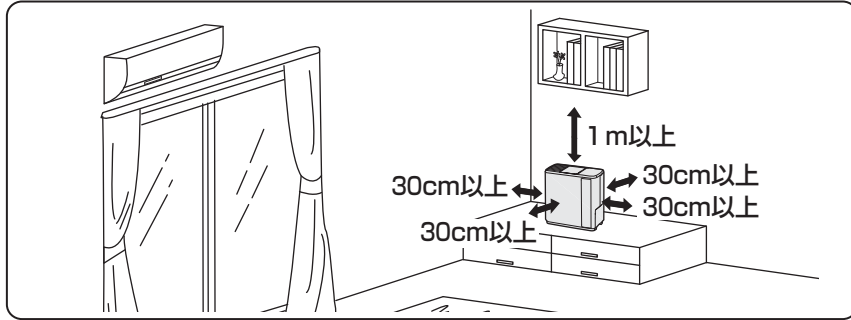
※電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、設定が解除されます。

使用する場所・使用前の準備

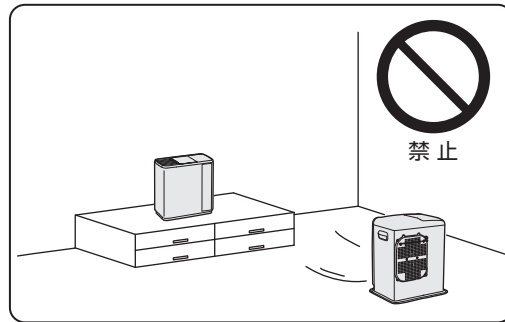
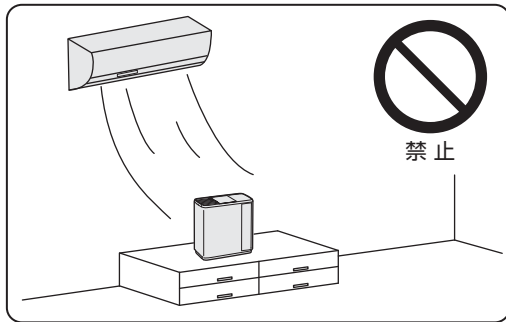
設置のしかた

設置場所

- 直射日光や冷気の影響を受けやすい窓際から離して設置してください。
- 設置状況の影響により正しい湿度を表示しないことがあります。部屋の空気の循環をよくして使用してください。
- 水平で丈夫な場所に設置してください。
- カーテンや壁、家具などから図に示す距離をとってください。
- カーテンなどが吹出口や背面の温湿度センサーをふさがないように設置してください。



- 加湿器本体にエアコン・暖房機の温風が直接あたらないところに設置してください。



移動するとき

- 必ずタンクを取り出し、トレイの水を捨ててから、取っ手を持ち、傾けないように静かに運んでください。水がこぼれて周囲をぬらすおそれがあります。



使用条件(室温と湿度)

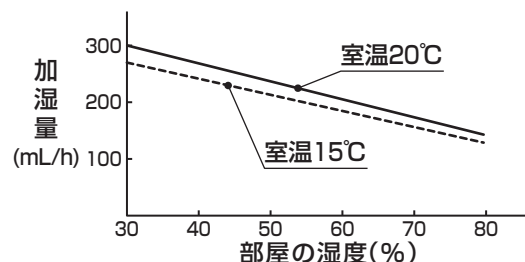
- 室内温度は0~40℃、湿度は20~85%で使用してください。
- 室内の湿度や温度条件により加湿量は変わります。

加湿量について

次のときには加湿量が少なくなります。

- 雨の日など、湿度が高いとき
- 室内の温度が低いとき

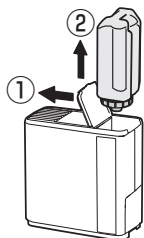
部屋の湿度と加湿量
(標準運転のとき)



運転開始前の準備

タンクに給水する

- 1** タンクカバーを開け、タンクを取り出す



- 2** タンクキャップを外す

- 外したタンクキャップにごみ、糸くず、ほこりなど付着しないように注意してください。



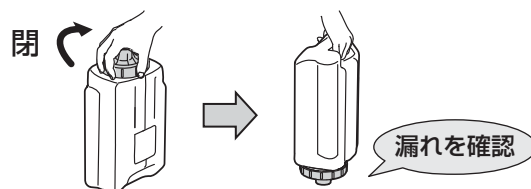
- 3** タンクを振り洗いしてから、水道水(飲用)を口元までゆっくり給水する

- 水道水(飲用)は、一般に塩素処理されており、雑菌が繁殖しにくいいため、必ず水道水(飲用)を使用してください。

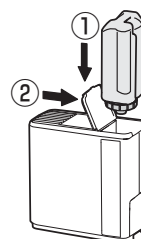


- 4** タンクキャップを確実に閉める

- タンクについた水は完全にふき取ってください。
- タンクキャップを下にして水漏れがないことを確認してください。
- ※ 漏れているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。22ページ



- 5** タンクを本体にセットし、タンクカバーを閉める



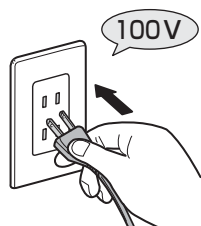
ご使用前

お守りください

- 40℃以上のお湯や汚れた水、ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水などを使用しないでください。
雑菌やカビが繁殖しやすくなったり、変形・割れ(水漏れ)・故障の原因になります。
- 化学薬品(塩素系除菌消臭剤など)、芳香剤(アロマオイルなど)を使用しないでください。
変形・割れ(水漏れ)・故障・火災の原因になります。

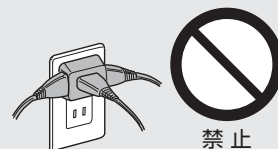
電源コードを接続する

電源プラグをコンセント(100V)に確実に差し込む。



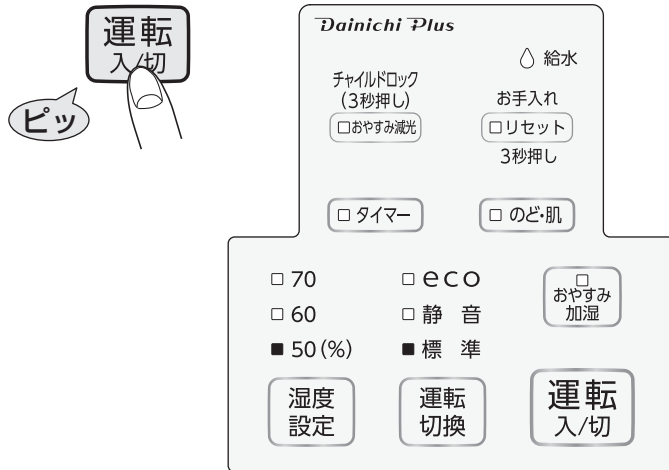
お守りください

- 家庭用電源(100V)以外では使用しないでください。
動作異常や予想しない事故の原因になります。
- 200V電源には絶対に差し込まないでください。
火災・感電・故障の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。
定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



運転を開始するとき

運転 入/切スイッチを押す



○ 約30秒後に現在湿度を表示します。◀ 6ページ

※ 設定した湿度になるように自動で加湿量を調整し、運転します。ただし、十分な加湿が得られているときは、運転を停止する場合があります。

※ 室内温度が高いときや低いときは、現在湿度が設定湿度より低いときでも、加湿量を抑えて運転する場合があります。

○ 湿度設定ランプ(赤)と運転モードランプ(緑)が点灯し、運転を開始します。

現在湿度表示について

現在湿度表示は目安としてお使いください。

- 本体内部の温湿度センサーで検知した湿度を表示します(表示湿度は、30~80%)。
- 湿度が30%以下のときは、現在湿度は「30」を表示します。
- 運転を開始してから安定するまで約5分かかります。また、急激な温度変化や設置状況などの影響により正しい湿度表示をしないことがあります。
- 現在湿度表示と他の湿度計の表示は、加湿器の設置状況や湿度計の種類により、一致しないことがあります。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。▶ 22ページ

給水の合図

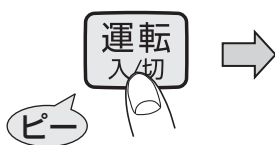
加湿運転中にタンクの水がなくなると給水サイン(赤)の点滅と10回のブザー音でお知らせします。同時に現在湿度表示も点滅します。



- 約20秒間送風後、停止します。使用状況などにより送風しないときもあります。
- ※ 給水サイン(赤)が点滅したときにタンクの中に少量の水が残っていることがありますが、異常ではありません。
- ※ おやすみ加湿運転中やおやすみ減光モード中、切タイマー運転中は、ブザー音は鳴りません。

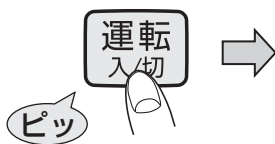
解除のしかた

1. 運転 入/切スイッチを押す



○ 給水サイン(赤)と現在湿度表示が消灯します。

2. タンクに水を入れ、本体にセットしてから再度、運転 入/切スイッチを押す



○ 運転を開始し、約30秒後に現在湿度を表示します。

メモ

- タンクを入れてから、トレイや抗菌気化フィルターに水が行きわたるまでに1~2分かかります。
- 初めてお使いになるときは、ヒータ(電熱線)の発熱により、吹出口から防錆油の焼ける臭いがあります。1時間ほどでおさまりますので、部屋の換気をしながらご使用ください。

おやすみ減光モード

就寝時などに表示部の明るさが気になるとき、3段階に明るさを減光して切りかえることができます。

おやすみ減光ボタンを押す

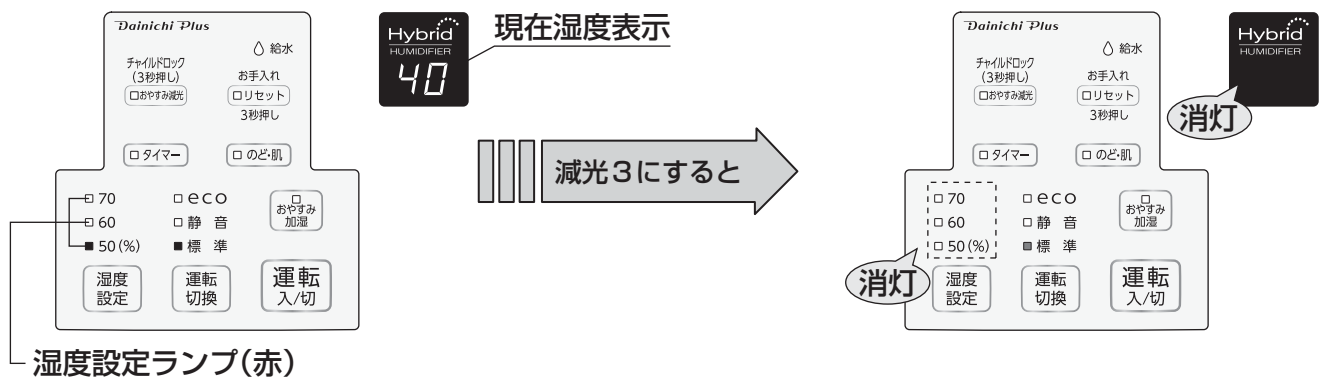
おやすみ減光ボタンを押すごとに、点灯しているすべてのランプと現在湿度表示の明るさが切りかわります。



- おやすみ加湿運転中は、おやすみ減光モードの設定はできません。
- 3秒以上押し続けたときは、チャイルドロックがセットされますので注意してください。 11ページ
- おやすみ減光モード中は、ボタン操作音や給水サインのブザー音は鳴りません。ただし、運転入/切スイッチを押して運転を停止するときは、ボタン操作音が鳴ります。
- おやすみ減光モード中に、おやすみ加湿ボタンを押すと、おやすみ減光モードが解除されますので注意してください。

おやすみ減光モードに設定したときの表示について

<運転モードを「標準」、湿度設定を「50%」に設定したとき>



	通常	減光1	減光2	減光3
現在湿度表示				消灯
湿度設定ランプ(赤)	通常の明るさ	通常の3分の2	通常の3分の1	
上記以外全ランプ				通常の3分の1

※おやすみ減光モード(減光3)のときに、チャイルドロックボタン、お手入れリセットボタン、およびおやすみ加湿ボタン以外のボタンを押すと、湿度設定ランプ(赤)と現在湿度表示を約3秒間点灯後、消灯します。

メモ

- 運転を停止したときや、電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したとき、本体を傾けたり転倒したことにより安全装置が作動したときは、おやすみ減光モードが解除されます。再度、設定してください。

運転を停止するとき

運転 入/切スイッチを押す



- すべてのランプと現在湿度表示が消灯します(現在湿度を表示したいとき…◀6ページ)。
- 約20秒間送風後、停止します。使用状況などにより送風しないときもあります。

メモ

- 運転停止中に現在湿度の表示を行うと、部屋の湿度を検知するため一定の間隔でファンが回りますが異常ではありません。気になる方は現在湿度表示を消してください。◀6ページ

お守りください

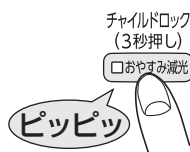
- 運転停止後約20秒間は、本体内を冷やすため送風ファンが回っているときがありますので、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
電源プラグを抜いて運転を停止したり、停止後すぐに電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

チャイルドロックを使用するとき

チャイルドロックをセットする

小さなお子さまのいたずらや、運転誤操作を防止したいときにお使いください。
運転中、運転停止中のどちらでもセットできます。

チャイルドロックボタンを「ピッピッ」と鳴るまで約3秒間押す



チャイルドロック
(3秒押し)
□おやすみ減光



チャイルドロック
(3秒押し)
■おやすみ減光

- チャイルドロックランプ(緑)が点灯します。
(チャイルドロックの解除以外は、操作ができなくなります)

メモ

- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、チャイルドロックが解除されます。再度、セットしてください。

チャイルドロックを解除する

チャイルドロックボタンを「ピッ」と鳴るまで約3秒間押す



チャイルドロック
(3秒押し)
■おやすみ減光



チャイルドロック
(3秒押し)
□おやすみ減光

- チャイルドロックランプ(緑)が消灯します。

運転切換をするとき

お好みの運転モードに設定してください。

標準：設定した湿度になるように自動で加湿量を調整し、運転します。

静音：風量を弱めて自動で加湿量を調整し、運転します。

エコ(eco)：消費電力を抑えながら自動で加湿量を調整し、運転します。

のど・肌加湿：室温に応じて、「のど・肌」のうるおいを守る湿度に自動で加湿量を調整し、運転します。

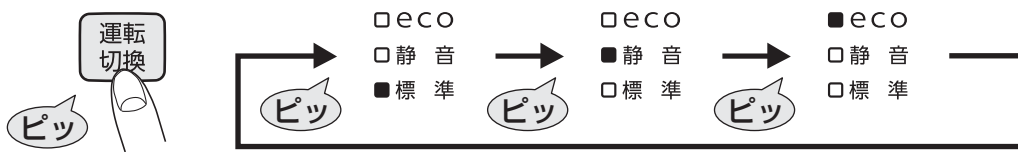
おやすみ加湿：就寝時に風量を弱めて静かに運転します。

※静音運転とエコ(eco)運転は、最大加湿量が少なくなり、部屋の広さや条件によっては設定湿度に達するまでの時間が長くなる場合があります。

◆標準・静音・エコ(eco)運転

運転切換ボタンを押す

運転切換ボタンを押すごとに運転モードが切り換わります。

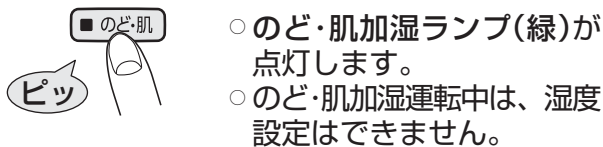


○選んだ運転モードランプ(緑)が点灯します。

◆のど・肌加湿運転

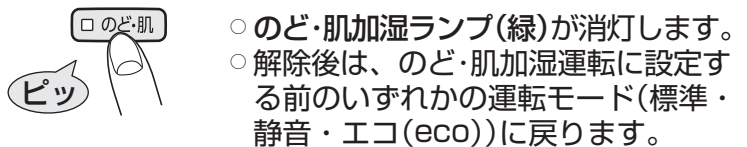
設定するとき

のど・肌加湿ボタンを押す



解除するとき

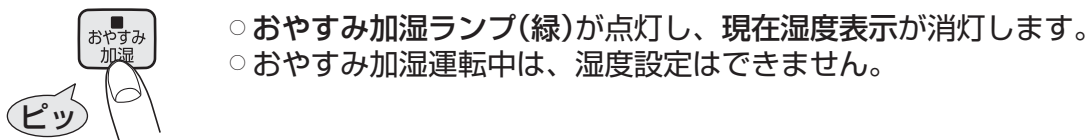
のど・肌加湿ボタンを押す



◆おやすみ加湿運転

設定するとき

おやすみ加湿ボタンを押す



最小風量運転(約1時間)

○部屋の湿度に関係なく風量を最小に抑えて加湿します。

静音運転(約9時間)

○静音運転で湿度50%設定で加湿します。

自動停止(おやすみ加湿運転開始から約10時間後)

- すべてのランプが消灯します。ただし、運転停止中に現在湿度を表示する設定をしている場合は、現在湿度を表示します。▶6ページ
 - 約20秒間送風後、停止します。使用状況などにより送風しないときもあります。
- ※切タイマー運転セット中は、切タイマーの設定時間が優先になります。

運転切換をするとき

解除するとき

おやすみ加湿ボタンを押す



- おやすみ加湿ランプ(緑)が消灯します。
- 解除後は、おやすみ加湿運転に設定する前のいずれかの運転モード(標準・静音・エコ(eco)・のど・肌加湿)に戻ります。

メモ

- おやすみ加湿運転中に運転を停止すると、運転モードが解除されます。再度、運転を開始したときは、おやすみ加湿運転に設定する前のいずれかの運転モード(標準・静音・エコ(eco)・のど・肌加湿)に戻ります。

湿度設定をするとき

湿度設定ボタンを押す

湿度設定ボタンを押すごとに湿度設定が切り換わります。



- 選んだ湿度設定ランプ(赤)が点灯します。
- ※のど・肌加湿運転、おやすみ加湿運転のときは、湿度設定はできません(運転モードランプ(緑)、湿度設定ランプ(赤)消灯)。

メモ

- 設定湿度を選ぶ目安としては、就寝時や室内の結露が気になるときは「50%」、乾燥が気になるときは「60%」、または「70%」に設定してください。

切タイマー運転を使用するとき

切タイマー運転をセットする

一定時間で運転を終わらせたいとき

2時間後、4時間後、6時間後、8時間後の設定ができます。

1 切タイマーボタンを押す

切タイマーボタンを押すごとに切タイマー時間表示が切り換わります。



- 切タイマーランプ(緑)が点灯します。
- 選んだ時間を約3秒間表示後、現在湿度表示に戻ります。

運転残り時間の確認について

切タイマーボタンを押す

時間の経過とともに、1時間単位で運転残り時間を約3秒間表示します。



- 運転残り時間の目安を表示します。
(例：表示が「4h.」のときは、4～3時間)

2 設定した時間が経過すると、自動的に運転を停止します

- すべてのランプと現在湿度表示が消灯します。ただし、運転停止中に現在湿度を表示する設定をしている場合は、現在湿度を表示します。◀6ページ▶
- 約20秒間送風後、停止します。使用状況などにより送風しないときもあります。

メモ

- 切タイマー運転中にタイマー時間を変えたいときは、もう一度 1 からセットしてください。

切タイマー運転を解除する

切タイマーボタンを現在湿度表示(解除)になるまで押す



- 切タイマーランプ(緑)が消灯します。

お手入れサインが点滅したとき

お手入れ時期の目安をお手入れサイン(赤)が点滅してお知らせします。

運転時間にかかわらず、電源プラグをコンセントに差し込んでから2週間後に、お手入れサイン(赤)が点滅します。運転を停止させ、お手入れをしてください。

1 抗菌気化フィルター・トレイのお手入れをする

お手入れのしかたは、16ページ「お手入れサインが点滅したとき」に従ってください。

2 お手入れリセットボタンを「ピー」と鳴るまで約3秒間押し、お手入れサイン(赤)を解除する

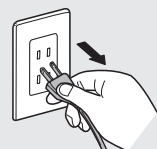


○お手入れサイン(赤)が消灯し、リセットされます。

お手入れのしかた

お守りください

- 点検・お手入れを行うときは、必ず運転を停止させ、送風ファンが停止したことを確認後、電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。また、分解はしないでください。感電・発火・故障の原因になります。
- お手入れせずに使用を続けると、雑菌やカビが繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になります。定期的にお手入れを行なってください。

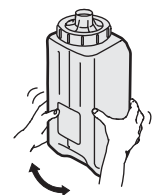


ご使用のたびに



タンク内をきれいにする

- タンク内の水は、毎日新しい水道水と入れ替えてください。タンク内の水を捨て、きれいな水を少し入れ、振り洗いしてください。
- タンクキャップを外したときに、Ag+抗菌アタッチメントをクエン酸で洗浄しないでください。ヌメリや臭いを抑える効果が得られなくなります。



メモ

- お手入れサイン(赤)が点滅する前にタンクの水の減りが遅くなったときは、抗菌気化フィルターとトレイのお手入れをしてください。[16ページ](#) [17ページ](#)



週に1回程度



本体のごみやほこりをふき取る

- 柔らかい布でからぶきしてください。汚れが落ちにくいときは、水でうすめた中性洗剤をしみ込ませた布でふいたあと、洗剤が残らないように固く絞った布でふき取り、からぶきしてください。
- 変質や変色防止のため、ベンジン、シンナー、アルコール、アルカリ洗剤、漂白剤などは使用しないでください。また、化学ぞうきんを使用するときはその注意書に従ってください。

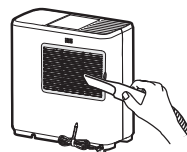


お手入れのしかた

週に1回程度

吸気グリルのお手入れをする

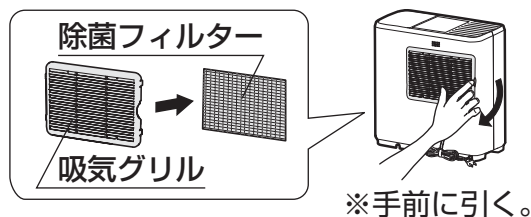
掃除機などで吸気グリルのほこりを吸い取る。



吸気グリルの汚れがひどいとき

吸気グリルの汚れがひどくなると、雑菌が繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になります。

1. 吸気グリルを外し、除菌フィルターを外す。

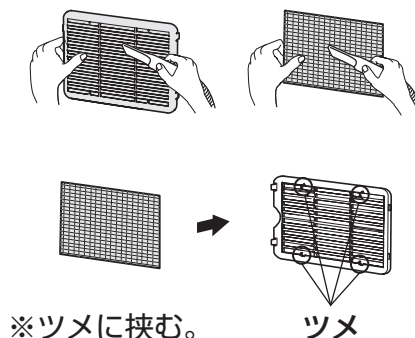


2. 吸気グリル、除菌フィルターは掃除機などでほこりを吸い取る。

※除菌フィルターの汚れが落ちにくいときは、交換をおすすめします。20ページ

3. 吸気グリルに除菌フィルターを取り付ける。

※除菌フィルターは吸気グリル裏側のツメ(4箇所)に挟むように取り付ける。



4. 吸気グリルを本体に取り付ける。

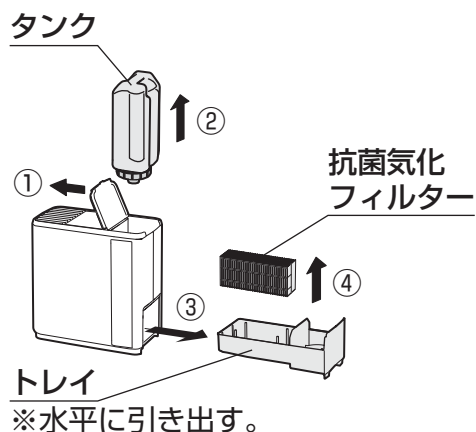
お手入れサインが点滅したとき

抗菌気化フィルター・トレイのお手入れをする

抗菌気化フィルターやトレイに水アカが付着します。水アカは水道水に含まれるミネラル分が気化せずに残ったものです。お手入れせずに使用を続けると固まって取れにくくなり、雑菌やカビが繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になりますので、必ずお手入れしてください。

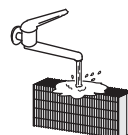
1 タンクカバーを開け、タンクを取り出し、トレイを本体から引き出す

2 トレイから抗菌気化フィルターを取り出し、お手入れする



お手入れのたびに(2週間に1回程度)

- 水道水で水洗いする。
- 吹き出す風が臭ったときは、重曹で洗浄する。
- 上部が乾いているときは、クエン酸で洗浄する。
- お手入れ後に続けて使うときは、ぬれたままでもご使用いただけます。



お手入れの2回に1回(1カ月に1回程度)は

- クエン酸で洗浄する。

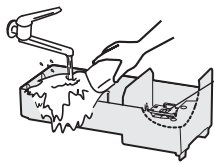
5シーズンに1回は

- 新しいもの(別売部品)と交換する。21ページ

※抗菌気化フィルターに強い力を加えないでください。破損するおそれがあります。
※洗浄のしかたは、17ページ「抗菌気化フィルターの洗浄のしかた」に従ってください。

お手入れのしかた(つづき)

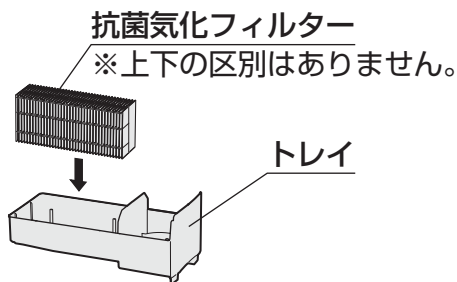
3 トレイの水を捨て、トレイをスポンジなどで水洗いする



フロート(外さないでください)

※フロートに付属している発泡スチロールも外さないでください。

4 抗菌気化フィルターをトレイにセットする

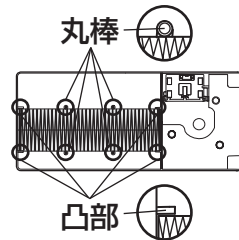


抗菌気化フィルター

※上下の区別はありません。

トレイ

<トレイを上から見た状態>



丸棒

凸部

※抗菌気化フィルターはトレイの凸部と丸棒に沿って入れてください。

5 トレイを本体に入れてからタンクをセットし、タンクカバーを閉める

※トレイは奥まで確実に入れてください。

6 お手入れサイン(赤)を解除する 15ページ

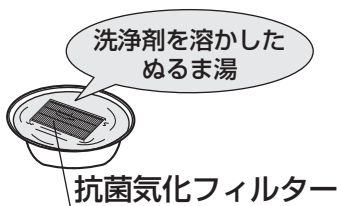
※お手入れサイン(赤)が点滅する前にお手入れを行なったときも、お手入れリセットボタンを「ピー」と鳴るまで約3秒間押し、リセットしてください。

抗菌気化フィルターの洗浄のしかた

1. めるま湯に用途に合わせて洗浄剤を溶かし、抗菌気化フィルターを浸ける。

(クエン酸と重曹を一緒に入れないでください)

塩素系・酸性タイプの洗剤は使用しないでください。有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。40℃以上のお湯は使用しないでください。部品破損の原因になります。



洗浄剤を溶かした
めるま湯

抗菌気化フィルター

用途	洗浄剤	使用量	浸け置き時間
定期的に水アカを取るとき	クエン酸	1.5Lあたり約10g (大さじ1杯)※1	約30分~2時間※2
吹き出す風が臭ったとき	重曹	1.5Lあたり約50g	約60分

※1 濃度が高いと部品破損の原因になります。

※2 水アカが取れにくいときは、浸け置き時間を長く(最長2時間)してください。

2. 水道水で2分以上を目安に、しっかりすすぎ洗いを。



※すすぎが不十分だと洗浄剤の成分が残り、臭いの発生や故障の原因になります。

※抗菌気化フィルターを外したまま機器を使用しないでください。


※詳しくは弊社ホームページでご覧いただけます。 22ページ

メモ

○クエン酸・重曹は薬局、薬店、ホームセンター、インターネットなどでお買い求めください。 21ページ

定期点検のおすすめ

長期間ご使用になりますと機器の点検が必要となります。シーズン初めやシーズン終了時にお買い上げの販売店などに点検依頼(有料)をおすすめします。

愛情点検		長年ご使用の加湿器の点検を！	
	こんな症状はありませんか	▶	ご使用中止
	<ul style="list-style-type: none">・水漏れする。・本体が異常に熱かったり、焦げくさい臭いがする。・運転中に異常な音や振動がする。・その他の異常や故障がある。		事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

保管と廃棄のしかた

保管するとき(長期間使用しないとき)

- 1 「お手入れのしかた」に従ってお手入れしてください。終了後再度、電源プラグをコンセントに差し込み、お手入れリセットボタンを「ピー」と鳴るまで約3秒間押し、リセットしてください。◀15ページ▶
- 2 抗菌気化フィルターなどお手入れした部品を十分に乾かしてから、お買い上げ時の包装箱に入れるか、ポリ袋などで包み、湿気の少ないところに保管してください。また、本体を傾けたり、横倒しの状態にしないでください。

廃棄するとき

本体・消耗部品を廃棄するときは、各自治体の指示に従ってください。

消耗部品の材質

- 抗菌気化フィルター……レーヨン・プラスチック(ポリエステル)
- 除菌フィルター……プラスチック(PP)
- Ag+抗菌アタッチメント…プラスチック(PP・ナイロン)

故障かな？と思ったら



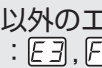
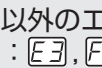
修理を依頼する前に

次の症状は故障ではありません。修理を依頼される前にもう一度ご確認ください。

症状	原因	処置方法
給水サイン(赤)と現在湿度表示が点滅している	タンクの水がなくなった。	タンクに給水する。 ◀ 8 ページ ▶ 9 ページ
タンクに水が入っているのに給水サイン(赤)が点滅する	本体が傾いている。	水平な場所に設置する。 ◀ 7 ページ ▶
	トレイが本体に確実に入っていない。	トレイを本体の奥まで確実に入れる。 ◀ 17 ページ ▶
	フロートが引っ掛かっている。	フロート周辺のごみを取り除く。 ◀ 17 ページ ▶
湯気や霧が見えない	運転入/切スイッチを押し直していない。	運転入/切スイッチを押し直す。 ◀ 9 ページ ▶
	本製品は抗菌気化フィルターに風をあてて湿った空気を送り出す方式のため、湯気や霧は見えません。	異常ではありません。 ◀ 4 ページ ▶
運転しない	チャイルドロックがセットされている。	チャイルドロックを解除する。 ◀ 11 ページ ▶
	給水サイン(赤)が点滅している。	タンクに給水する。 ◀ 8 ページ ▶ 9 ページ
	電源プラグが抜けている。	電源プラグをコンセントに確実に差し込む。 ◀ 8 ページ ▶
運転中なのに風が出ない(加湿しない)	部屋の湿度が設定した湿度以上になっているため、加湿を止めています。	異常ではありません。 ◀ 9 ページ ▶
風は出ているのに、タンクの水が減らない、または風の出が少ない	吸気グリルにほこりが付着している。	吸気グリルのお手入れをする。 ◀ 16 ページ ▶
	抗菌気化フィルターに水アカやごみが付着している。	抗菌気化フィルターのお手入れをする。 ◀ 16 ページ ▶
風が冷たい	水が気化するとき熱が奪われるので、室温より低い温度の風が出ます。	異常ではありません。 ◀ 4 ページ ▶
現在湿度が設定湿度より高い、または現在湿度表示が70%以下にならない	設置状況によっては現在湿度が設定湿度より高くなる場合があります。	設置場所を確認する。 ◀ 7 ページ ▶
		十分な加湿が得られているときは、運転を停止する。 ◀ 11 ページ ▶
加湿器の現在湿度表示と他の湿度計の表示が一致しない	現在湿度表示は、加湿器の設置状況や湿度計の種類により異なります。	設置場所を確認する。 ◀ 7 ページ ▶
		現在湿度表示は、目安としてお使いください。 ◀ 9 ページ ▶
運転切替ができない		
切タイマー運転ができない	給水サイン(赤)が点滅している。	タンクに給水する。 ◀ 8 ページ ▶ 9 ページ
湿度が上がらない	部屋が広すぎる。	適用床面積の範囲でお使いください。 ▶ 21 ページ
	エコ(eco)運転、静音運転、おやすみ加湿運転になっている。	標準運転でお使いください。 ◀ 12 ページ ▶
	窓や戸が開いている。	窓や戸を閉めてお使いください。
	抗菌気化フィルターに水アカやごみが付着している。	抗菌気化フィルターのお手入れをする。 ◀ 16 ページ ▶
運転停止中に送風ファンが回っている	部屋の湿度を検知するため一定間隔で送風ファンが回ります。	異常ではありません。気になる方は、現在湿度表示を消してお使いください。 ◀ 6 ページ ▶
音がする	「ポコポコ」という音は、タンクからトレイに水が供給される時、タンクの中に空気が入る音です。	異常ではありません。
	「ブーン」、「ジー」という音は、送風ファンが動いている音です。	異常ではありません。いつもより音が大きいときは、吸気グリル・抗菌気化フィルターのお手入れをしてください。 ◀ 16 ページ ▶
臭いが出る	抗菌気化フィルター・吸気グリル・トレイが汚れている。	抗菌気化フィルター・吸気グリル・トレイのお手入れをする。 ◀ 16 ページ ▶

異常の原因と処置のしかた

次のようなエラー表示が現れたときは、適切な処置を行なってください。

表示部(エラー表示)	原因(安全装置)	処置方法
 点滅	本体を傾けたり、転倒したため自動停止した。 (転倒自動停止装置が作動)	水平な場所に設置し、こぼれた水をふき、本体が乾いてから運転入/切スイッチを押し直す。 7ページ
 点滅	室温異常(0℃以下、または40℃以上)になったため自動停止した。 (室温異常自動停止装置が作動)	設置方法を確認、運転入/切スイッチを押し直す。 7ページ
上記以外のエラー (例:  , )	点検・修理が必要な故障です。	電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。 22ページ

処置を行っても直らないとき

故障が考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。[22ページ](#)
故障したまま使用を続けると、予想しない事故が発生するおそれがあります。

消耗部品の交換について

交換の目安

◆抗菌気化フィルター

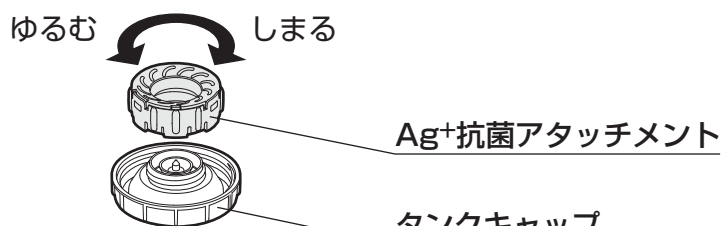
- 5シーズンを目安に新しいもの(別売部品)と交換してください(1シーズン6カ月、1日8時間運転、水道水の硬度50mg/L(全国平均)、月に1回クエン酸洗浄した場合)。また、5シーズン以内でも汚れや水アカが落ちにくくなったり、傷みや型くずれがひどいときは交換してください。[21ページ](#)
交換せずに使用を続けると、雑菌やカビが繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になります。なお、水道水の硬度の違いにより寿命が短くなる場合があります。また、クエン酸で洗浄せずに使用を続けると寿命が短くなり、1シーズンに満たなくても交換が必要になる場合があります。

◆除菌フィルター

- 汚れが落ちにくくなったら交換をおすすめします。[21ページ](#)
交換せずに使用を続けると、雑菌が繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になります。[16ページ](#)

◆Ag+抗菌アタッチメント

- 1シーズンを目安に新しいもの(別売部品)と交換してください(1日平均5Lの水道水を6カ月使用した場合(総使用量900L)が交換の目安)。[21ページ](#)
なお、水質、使用環境によっては、交換時期が早くなる場合があります。
Ag+抗菌アタッチメントは、取り付けずにご使用いただくこともできますが、又メリや臭いの原因を抑える効果が得られなくなります。



※交換部品ではありません。
捨てないでください。

部品のご注文について

次の別売部品は、お買い上げの販売店にご注文ください。その際は、型名・部品名・商品コードをはっきりとお伝えください。また、弊社ホームページでもご注文ができます。◀表紙

別売部品

(この部品は本加湿器用です。他の機器では使用しないでください。)
また、価格や仕様は予告なく変更することがあります。
その他の部品についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

<消耗部品>

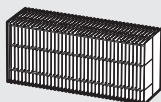
※純正品をご使用ください。

加湿器本来の性能を発揮できない場合があります。



【クエン酸】
330円

(本体価格 300円)
商品コード：H010010



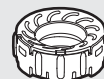
【抗菌気化フィルター】
1,760円

(本体価格 1,600円)
商品コード：H060517



【除菌フィルター】
495円

(本体価格 450円)
商品コード：H060351



【Ag+抗菌アタッチメント】

※1個入り
1,100円

(本体価格 1,000円)
商品コード：H011500

仕 様

型 名	HD-N323E3			
電源電圧及び周波数	AC100 V 50/60 Hz			
運 転 モ ー ド	標 準	静音/おやすみ加湿	エコ(eco)	のど・肌加湿
消費電力(最大)	98/98 W	93/93 W	11/11 W	98/98 W
加湿量(最大)※1	300 mL/h	240 mL/h	210 mL/h	300 mL/h
運 転 音	最 大	23 dB	17 dB	23 dB
	最 小	13 dB	13 dB	17 dB
連続加湿時間※2	約 8.0 時間	約 10.0 時間※3	約 11.4 時間	約 8.0 時間
タンク容量	2.4 L			
適用床面積	木造和室	8 m ² (5畳)まで		
	プレハブ洋室	14 m ² (8畳)まで		
外形寸法(高さ×幅×奥行)	325 mm×322 mm×165 mm			
質 量	約 3.4 kg			
電源コードの長さ	1.8 m			
安 全 装 置	転倒自動停止装置、室温異常自動停止装置			

※1 加湿量(最大)は室温20℃・湿度30%の場合。室内の湿度や温度条件により加湿量は変わります。◀7ページ

※2 連続加湿時間は加湿量(最大)で運転し続けた場合。

※3 おやすみ加湿運転設定時は約10時間で運転を停止します。

保証とアフターサービス

使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談・別売部品の購入などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

保証について

◆保証書(裏表紙に付いています) 裏表紙

- 保証書は、必ず「お買い上げ日、製造番号、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 販売店の記載がないときは、それを証明する領収書などが必要となりますので、一緒に保管してください。
- 内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

◆保証期間

保証期間は、お買い上げ日から本体3年間です。なお、消耗部品(抗菌気化フィルター・除菌フィルター・Ag+抗菌アタッチメント)の取り替えは、保証期間中でも有料となります。他にも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品について

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 本加湿器の補修用性能部品は、製造打切り後9年保有しています。

修理を依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」に従ってお調べください。 19ページ 20ページ
- 処置を行なっても直らないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。その際は、右の事項をご連絡ください。

◆保証期間中

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

◆保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料修理させていただきます。

◆修理料金

技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

品名：ダイニチ加湿器
型名：本体背面に表示
お買い上げ日：保証書に記載
故障の症状：エラー表示など、できるだけ詳しく

お守りください

- 修理などで加湿器を運搬するときは、必ずタンク・トレイの水を捨ててください。運搬の途中で水がこぼれて周囲を汚すおそれがあります。

ご相談窓口(使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談など)

お客様ご相談窓口(通話料無料)

携帯電話、スマートフォンからもお問い合わせいただけます。

TEL 0120-468-110

FAX 0120-468-220

<受付時間>

9:00~12:00/13:00~17:00

(土曜・日曜・祝日は除く)

※型名(本体背面に表示)をご確認のうえ、ご連絡ください。

インターネットからのお問い合わせ

■パソコン・タブレット・スマートフォンからアクセス
<https://www.dainichi-net.co.jp/support/>

ダイニチ工業 お客様サポート



※通話料などは お客様のご負担となります。

ダイニチ工業株式会社におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

1. ダイニチ工業株式会社(以下「弊社」)は、お客様の個人情報をお客様からのご相談への対応や修理及びその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
2. 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - ①修理やその確認業務を委託する場合
 - ②法令の定める規定に基づく場合
3. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせいただきました窓口にご相談ください。



加湿器保証書

型名	HD-N323E3	製造番号	
お客様	お名前 様		
	ご住所 〒		
	電話番号 見本 -		
	お買い上げ日	販売店名・住所・電話番号	
	年 月 日		
	保証期間(お買い上げ日から)		
	本体3年間		

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から左記期間中故障が発生したときは、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

(お客様へお願い)
お手数ですが、お名前・ご住所・電話番号をわかりやすくご記入ください。
販売店の記載がないときは、それを証明する領収書などが必要となりますので、一緒に保管してください。

(ご販売店様へ)
お買い上げ日・製造番号・貴店名・住所・電話番号を必ず記入し(記入のないときは無効となります)、本書をお客様へお渡しください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障したときは、お買い上げの販売店が無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受けるときは、商品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に依頼してください。
- ご転居のときは、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できないときは、弊社にご相談ください。
- 保証期間内でも次のときは、有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、不当な修理・改造による故障や損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動・落下などによる本体の故障や損傷、およびタンク・タンクキャップの損傷。使用状況などによる本体やタンクの変形・変色。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)などによる故障や損傷
 - (ニ) 異常電圧、指定外の電源(電圧・周波数)、ほこりなどによる故障や損傷
 - (ホ) 消耗部品(抗菌気化フィルター・除菌フィルター・Ag⁺抗菌アタッチメント)の取り替え
 - (ヘ) 定期点検や内部清掃の費用
 - (ト) 一般家庭用以外(たとえば、業務用の長時間使用や車両・船舶への搭載)に使用されたときの故障や損傷
 - (チ) 本書の提示がないとき
 - (リ) 本書にお買い上げ日・お客様名・販売店名の記入のないとき、あるいは字句を書き替えられたとき。通信販売などでご購入したときは、商品の送り状・領収書などの提示がないとき。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明のときは、お買い上げの販売店、または弊社にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書(22ページ)をご覧ください。

ダイニチ工業株式会社

〒950-1295 新潟市南区北田中780-6
お客様ご相談窓口TEL 0120-468-110
ホームページ <https://www.dainichi-net.co.jp/>

